

考えの共有により、 仲間の見方・考え方を知り、学びを深める学習

第4学年 | 角の大きさを調べよう「角度」

こんな子どもたちの姿が生まれました！

- ノートを共有し、仲間の考えと比較しながら、考え方や違いを説明することで、学びを深めることができました。
- テスト機能を活用し、学習を止めることなく、自分のペースで学びを進め、習熟を図ることができました。

静止画と動画を共有し、学びの定着を図る



ノートに綴ることで自分の考えを整理し、全体で共有することで、全員の学びを位置付けられるようにする。

- ・作業、考え方の手順が必要な学習において、紙媒体のノートに綴ることで、自らの考えを整理することができるようにする。
- ・個々のノートを静止画像で協働学習支援ツールに提出し、ノートを共有できるようにすることで、一部の児童の考えだけで学習を進めるのではなく、全員の学びを位置付けられるようにする。
- ・考えを共有することで、主体的に交流し、共通点・相違点を確認しながら学びを深めることができる。
- ・作業、考え方の手順を動的に示しながら説明できるようにすることで、視覚的に仲間の考えを理解することができる。

教師の指導のポイント

- 学習内容に応じて、静止画像と動画を使い分け、より効果的な学習活動を位置付ける。

テスト機能・アンケート機能を活用し、定着状況に応じて、個別最適な学びを進める



授業の終末の練習問題にタブレットで取り組み、自動採点・アドバイス機能で、定着状況に応じた個別最適な学習を進める。

- ・教師の丸付けを待つ時間を減らし、個々の定着状況に応じ、主体的に確かめたり、繰り返したりする学習場面を位置付け、習熟を図る。
- ・知識及び技能を確認する問題に取り組むだけでなく、思考力や読解力を必要とする発展問題にも取り組めるように配慮することで、定着状況が高い児童も時間いっぱい取り組むことができる。

教師の指導のポイント

- 繰り返しの学習で習熟を図ったり、つまづきのある児童の見届けを行ったりして、個別最適な学びを進める。
- 教師から提示された複数の問題や GIFU ウェブラーニングなどを活用し、授業終末や家庭学習においても、主体的に習熟が図られるようにする。

動画を活用し、家庭との連携を図りながら、分度器の正しい使い方の定着を図る

意図的に動画を活用し、分度器の正しい使い方を動的に確かめられるようにする。

- ・個々の実態に応じて、静止画像と動画を主体的に選択し、自らの学びに生かすことができるようにする。
- ・授業で学んだ分度器の使い方を家庭でも確かめ、その様子を動画撮影して、協働学習支援ツールで提出することで、児童の学習内容の定着を図るとともに、教師は確実に見届けられるようにする。

教師の指導のポイント

- 自学級の児童の実態を踏まえ、分度器の使い方に関する動画を自作する。
- 家庭との連携を図り、家庭で分度器の使い方を動画で撮影し、教師に提出することで、定着の見届けまでを行う。